中症予防に努めている。

等を使用することは、校舎|ー

一には課題があると考えてお ため、固定的な設備の設置

-ビス向上に活用

技術の導入

活用策を検討していく

術であると考えている。 まざまな可能性を秘めた技 民サービスの向上など、さ|

討を進めていく。

方がいることも想定される

費用縮減のみならず、現行|

AI技術は、効率化

がかかることを望まない

また、児童生徒が保冷剤

については、ミストシャワ

きたい。庁舎入り口の設置

間を設定するなどして、熱 の要望に応じて対応してい

環境に応じて定時給水の時 水に加え、学習内容や学習 給は、本人の意思による給 の対応を聞きたい。

熱中症対策の水分補

ーを既に独自に設置してい

簡易なミストシャワ

使用について、教育委員会

見解を聞きたい

業中の水分補給や保冷剤の 配する声が聞かれるが、授 保護者から、児童生徒を心

今夏の猛烈な暑さに、

(藤沢市公明党)



























水分補給と保冷剤 柔軟な対応に 熱中症対

あり、全ての学校に設置し ミストシャワーが効果的で 質問 熱中症対策として、| り、可動式の導入について 検討していきたい。

Z

平川

和美

井上 裕介 再発防止策を徹底 報酬等の支払い遅延

務を行っているものがある

|学校施設だけでなく、 市役

所庁舎への設置についても

てはどうかと考える。また、

職員のモチベーショ (市民クラブ藤沢) |各課の支払い状況の調査を| 酬、短時雇用職員2人の賃 を把握していなかったが、

校の使用状況等を未設置校 に情報提供を行い、各学校 る学校もあり、これらの学 質問 |常勤職員の報酬が振り込ま く、行っていかなくてはな らないと考える。本市の非 り、常勤、非常勤に関係な ンの維持は非常に重要であ ことが判明した。

職員の給与の支給が 行っている。

応するよう心がけている。 り支給額に過不足が生じる | くれが生じることのないよ 職員に確認し、速やかに対|覧表の活用等、再発防止策 ことなどがあるため、当該|う、処理期限のチェック| 的にはないが、各種の手当 によっては、申請時期によ らかにし、報酬、賃金のお おくれるということは基本 も含め、おくれた原因を明 を徹底していく。 今後、現在調査中のもの

や短時雇用職員の賃金につ

また、非常勤職員の報酬

いては、課ごとに支払い事

武藤 严

|点で非常勤職員69人の報|みについて聞きたい。 したところ、9月14日の時 | いての課題と今後の取り組 ため、全庁的な支払い状況 簿の提供状況や、名簿につ 避難行動要支援者名

|金の支払いがおくれていた|いては、本制度における支|会・町内会等476団体の|ない自治会・町内会がある|いても収集を行い、事例集 支払い済や振り込み手続 | 内会や自主防災組織を初め、」とが判明した。 | 援の中心となる自治会・町 |体に提供している。

を築いている自治会・町内

一びつくよう取り組んでいく。 を作成するなど、活動に結

る。

市としては、

国民健康

きたい。

金の有効活用を視野に入れ、

込み、介護保険事業運営基 き、保険給付費を適正に見

保険料を適切に設定して

程度の保険料水準としてい また、30年度は前年度と同 保険料の引き下げを行い、 1人当たり約4400円の は、平成29年度は被保険者 の状況や原因について聞き|るが、未払いについては、 **れないとの声があるが、そ**|きを終えているケースもあ

現在支払いに向けた手続を

名簿の活用を進める 避難行動要支援者

(藤沢市公明党

答弁 名簿の提供状況につ

国民健

康保険料等

保険財政の都道府県単位化

による市町村への影響を検

保険料を適正に設定

証するとともに、特定財源

土屋 俊則

(日本共産党藤沢市議会議員団)

質問 国民健康保険料、介



|警察へ提供している。自治|簿を受領していただいてい |うち約8割となる397団|ことから、独自の支援体制 民生委員児童委員、 消防局、

課題の一つ目として、名

|アンケート調査項目を見直

の作成を進めていく。また、

簿の管理方法を示した資料

具体的なステップや名

険料賦課総額に充てた上で 額を試算し、その多くを保

ある。

市の中で、

最も低い金額で

算定をしている。具体的に

の策定に当たっても引き続

33年度以降の第8期計画

年度からの繰越金の見込み|この基準額は神奈川県内19

支を勘案するとともに、前 率は、直近の保険財政の収

|700円に設定しており、

画である第6期と同額の4

いて、保険料基準額を前計

7期介護保険事業計画にお

一方、介護保険料は、

見解を聞きたい。

国民健康保険料の料

強くあることから、優先的

きたい。

に取り組むべきと考えるが

護保険料等の軽減について

市民からの特に要望が

|き保険料の抑制に努めてい

ることなどにより、引き続 費適正化の取り組みを進め タヘルス計画に基づく医療 の確保や第2期藤沢市デー

し、具体的な活用事例につ

や行財政改革の視点による | ズを的確に把握し、政策や の行政事務の置きかえや市|考えられる。今後も、市民 I技術の活用策について検 | 積されることで、住民ニー サービスの向上に資するA 事業に反映しやすくなると る。委託した日常清掃業務 総合管理業務委託の中で、 は、敷地も含めた本庁舎の 置している。 日常清掃業務の一環として、 等を適時行うこととしてい 芝生の維持管理について

上につながるものの一つと して、対話形式で市民から 現在、市民サービスの向 い合わせに対応する、 桜井 本庁舎広場の芝生 適切な維持管理を 真人

|れている。一方で、職員に|のように対応していくのか よる問い合わせ対応業務の きやすくなることが期待さ 求めている情報にたどり着 減少が見込まれ、生み出さ い合わせができるもので、 る。スマートフォンからA Iと対話しながら気軽に問| 考えを聞きたい。 |されているとは到底言えな れたが、適正に維持管理が | 庁舎の広場に芝生が植栽さ | こととしていたため、芝生 管理の方法、また、今後ど い。設置された理由、維持 答弁 本庁舎広場は、市民

熱中症対策として学校に設置された簡易なミストシャワ

吉田

淳基

ついて情報収集を行ってい

質問 庁舎整備に伴い、本

(市民クラブ藤沢)

細則は、育成状況等をみな

堺

英明

わゆるチャットボットに

(ふじさわ湘風会)

政改革の視点だけでなく、

さまざまな課題解決や市民

サービスの向上に資するも

のであるが、本市として今

いるのか聞きたい

用は、

業務の効率化、行財 AI(※)技術の活

後どのような活用を考えて | 向けることが可能となるこ | ヒートアイランド現象の抑 |とや、問い合わせ内容が蓄|制の対応を目的に芝生を設 |れた時間を他の業務に振り|が集い、憩えること、また、 |門的な知識、技術が必要で|たい 管理ができなかった。 今後は、芝生に関する専

|芝生内の散水、雑草の除去||しまれ、集い、憩える広場||の子どもの世代が多く、高 |管理業務について、委託内 |となるよう、適切な維持管| 理に努めていく。 容の見直しを行い、当初の た上で、来年度以降の総合 設置目的である、市民に親 あることをしっかり認識し

|年代に住み始めた人々とそ |てきたが、現在は、昭和50 してまちづくりが進められ 市と農業の調和するまちと

湘南大庭地区は、

容のチェックを行っている全般は、実施された作業内 が、芝生の手入れに関する モデル地区化を 湘南大庭の課題解決

|だったことに加え、手入れ|**その認識について聞きたい。**|などを踏まえた住居、介護、 |受託業者との連携が不十分| どのような課題があるのか の維持管理について、チェ たこともあり、適切な維持 ックは行っていなかった。 がら、別途協議して定める に関する見識が不足してい 芝生の手入れについては、|くの課題を抱えているが、 また、課題解決に取り組む 施策を実施するモデル地区 区でも直面するであろう多 齢化が進み、将来ほかの地 考えるが、市の見解を聞き として進める必要があると 湘南大庭地区は、高 (ふじさわ湘風会)

の管理が難しい、また、担 がるよう促していくことで な意見を踏まえ、今後、実 からないことや、名簿情報 するアンケート調査の結果 ある。自主防災組織等に対 く。二つ目は、名簿の活用 会を除き、全ての自治会・ た意見があった。このよう い手が不足しているといっ の、具体的な活用方法がわ について具体的な行動に繋 るよう取り組みを進めてい 町内会に受領していただけ では、名簿を受領したもの

情に応じて、取り組めるよ

医療、 区でもある。高齢化の進展 交流、 や新たな地域づくりに関す 点に立つと、地区の活性化 ていく地域づくりという視 高齢化に向き合い、共生し る多くのチャンスがある地 えられる。しかし、少子超 課題として表れてくると考 空き家対策などのさ 就労や世代間



新たな地域づくりについて注目されている湘南大庭地区

ろである。モデル地区化に イナーが運行し始めたとこ |を見きわめながら、 ほか、連節バスのツインラ | 業の内容や目的、 験のフィールドに選ばれた|県などが実施するモデル事 いては、地域課題と国、 |体の理解を得る中で進めて いきたい。 効果など 地域全

※AI…人工知能。コンピューターを用いて人間の脳がもつ知能や機能を実現させようというもの。